

みんなに伝えるよんこ

2月21日に、佐賀っ子解放まつりがありました。各学年が人権について学んだことを発表する会です。

いよいよわたしたちの発表になりました。それまでの作文発表や1〜4年生の発表がとてよよくて、少し自信を無くしかけていました。

「次は5年生の発表です。5年生は準備をしてください」

「はいっ！」
「がんばれ〜」
と言われるのを聞きながら、階段を上りました。

5年生の発表は、部落差別について学んだことと、自分たちの夢についてです。うまく伝わるやろうか、みんなに聞こえるやろうか。きんちようしながら台に上がりました。

「私たちは、差別と私たちの夢について…」差別によって夢を持てなかったこと、ひどさと自分で夢を決められることの大切さを伝えました。言えた。言えたんだ。みんなにもきくと伝えるはず、と思えた発表会でした。

(佐賀小学校 5年 土居 胡桃生)



6年間で最大の学び

私は小学校生活6年間でたくさんのことを学びました。

中でも平和についての学びは特別で、最大の学びとなりました。1年生の時から学んでいて、6年生になってからもっとくわしく学びました。

修学旅行では広島市の平和公園に行きました。本当に戦争があつて、爆弾を落とされたところを見ると、とても悲しかったです。そして、今は毎日友だちと遊べたり、家で家族と過ごせたりすることがとても幸せなことなのだと思つて改めて気がつきました。

これからも平和について考えていくことは大事なことだと思います。だから、中学校に行つてからも平和な世の中を作るために自分にできることを考えていきたいと思つています。

(入野小学校 6年 宮地 るな)



総合的な学習の発表会

2月14日に「総合的な学習の発表会」がありました。これは、各学年が総合的な学習の時間で学んだり考えたりしたことを発表する佐賀中学校の行事の1つです。

2年生は、佐賀の町を今よりもっとよりよくする案を出し合い、その案をカタチにするために行動に移しました。学習を始めてすぐは、「佐賀の町を今よりもっとよくできるのかな」と思っていました。しかし、よくなった佐賀の町のことを想像して学習を進めると、「佐賀の町はよくなる」という自信に変わっていきました。

また、考えた案を実現するために、地域の方々にも協力していただきました。総合的な学習の時間を通して、地域の方々と協力し合うことの大切さに気付くことができました。

これからも、佐賀の町をよりよくするためにみんなで協力していきたいです。

(佐賀中学校 2年 矢野 瑛十)

